



# 日本医療福祉生活協同組合連合会

## 東日本大震災支援ニュース No.41

(2011年4月15日 17時現在)

### 被災地の医療福祉生協の状況

#### ○福島中央市民医療生協

地域の避難所支援活動を継続しています。避難されている方から医師に放射線被害についての質問があり、丁寧に説明し安心していただいた。正しい情報伝達が必要と実感している。

歯科支援は単独行動ではなく保健師を交えての診療支援を行っている。歯科医師、歯科衛生士が連日、避難所を訪問し医療支援。11日は、VE(嚥下内視鏡)、窒息ならびに誤嚥性肺炎予防のための栄養指導、食事指導、口腔ケア指導を実施。

(4月12日付、避難所支援報告より)

#### ○郡山医療生協

4月11日、医療生協さいたまの埼玉協同病院の雪田副院長を講師に招き、職責者を対象に「災害時のメンタルヘルス対策として必要なこと」をテーマに学習会を開催。

余震が続く中、「万一、大きな地震が起きた場合、夜勤スタッフだけでは不安」との声を受け、緊急メールシステムを設定。1回の送信で対策本部メンバーを緊急招集することができるように。

14日、職員への支援として、弁護士と社会保険労務士の協力を得て、相談会を実施。

(対策本部ニュース14日付No.25・26より抜粋)

#### ○浜通り医療生協



4月7日、全国いっせいまちかど健康チェックを、近隣スーパー店頭を借りて、9時30分から11時30分まで88名の方に行いました。双葉郡内から親類を頼って避難してきた方から「定期薬が切れそうで心細い」との訴えがあり小名浜生協病院を紹介しました。(写真)。

4月13日に小名浜生協病院に入院中の患者様2名が100歳を迎え、県知事、市長らからお祝いが贈られました。病棟を守ってきた職員にとっても喜びのひとつとなりました。

4月11日に発生した余震で断水に直面していましたが、4月14日(木)12時に水道が復旧しました。断水の間、8生協から浜通り医療生協に6トンの水を提供していただきました。(13日付応援ありがとうニュースなどより抜粋)

## 支援状況

### ○医療生協さいたま

医師（整形外科）1名が16日、宮城県塩釜市の支援拠点病院に向け出発。4月9日から12日にかけて福島市、相馬市、郡山市、いわき市を訪問。（13日付ニュースより）

### ○尼崎医療生協

13日21時、組合員活動部長を責任者に、地域包括支援センター所長、組活管理課長の3人が、みやぎ県南医療生協に向け車で出発。4月14、15日の2日間で、宿泊施設の確保を含む現地の支援（ボランティア）受け入れ体制を確立する予定。来週4月18日（月）から本格的な支援開始を目指しています。訪問看護ステーション菜の花の所長ら看護師2名、医療ソーシャルワーカー1名が21日、第5次医療支援に出発。（救援ニュースNo.26・27・28より抜粋）

### ○岡山医療生協

断水した浜通り医療生協に水を送るため、職員が手分けして2リットルのペットボトル517本を購入。目標の1トンを超えました。4月13日、義援金として医療福祉生協連に100万円を送金。（支援ニュースNo.7より抜粋）

### ○広島中央保健

第5陣医療支援として4月17日から医師2名、放射線技師1名が宮城県の支援拠点病院に向け出発予定。24日まで。320万円を超える義援金が寄せられています。また、支援者への体調等の聴き取りを開始。東京都福祉保健局発行の『災害時の「こころのケア」の手引き』をお渡しすることに。（支援対策ニュースNo.26～29より抜粋）

### ○医療生協健文会

4月15日、薬剤師1名が宮城県へ医療支援に出発。以後も、17日、20日、24日に医療支援を行う予定です。（支援ニュースNo.9より）

### ○鳥取医療生協

4月13日、医師（精神科医）1名が、心のケア支援のため、宮城県塩釜市の支援拠点病院へ出発。師長1名、事務2名、理学療法士1名も医療支援に。（支援対策本部ニュースNo.43より抜粋）

義援金総額（4月14日現在）

**7954万8693円**（57生協、個人、事業者）

東日本大震災ニュースは月・水・金の発行を基本とします。  
臨時でお知らせする情報があれば随時お届けします。

担当：江本（at\_e@hew.coop）・丸山（kj\_m@hew.coop）